令和２年８月３日(月)

大阪中体連柔道専門部関係者様

大阪中体連柔道専門部

部　長　谷 口 正 人

委員長　権 藤 利 幸

第４回　専門委員会決定事項の連絡

[「大阪中学校秋季柔道大会」他について]

盛夏の候、益々ご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は本柔道専門部の活動推進にご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、各校で６月中旬から始まりました１学期も、数日を残すのみとなりました。一旦、終息に向かうように思われた新型コロナウイルス感染症は、皆様方もご存じのように７月になり再び感染者数の急増に転じています。

一方、部活動においては６月にその制限が緩和され、対外試合の再開も以前に通達された８月末から７月１１日（土）に５０日の前倒しとなりました。しかし、その翌日１２日に「大阪モデル」に黄色信号が灯される由々しき事態となり、部活動助長と危機意識の間で現在に至っています。

柔道は、フルコンタクトスポーツの最たるもので、コロナウイルス感染症の予防にはどの競技よりも注意深く細心の対策を施さなければなりません。また、全柔連通知「段階的練習」指針(７／２７最新版)に沿った活動を励行する必要もあります。

本専門部では、このような諸条件を踏まえ、かつコロナ禍の下での選手並びに役員・関係者の‘安全と生命の確保’を最優先にした「秋季大会開催のガイドライン」を作成しました。そして、先週専門委員会にて協議を重ねた結果、残念ながら別紙の通り苦渋の決断を下すこととなりました。また、各地区予選会についても府大会同様の扱いとするよう指示を出しております。皆様方には、何卒ご理解ご協力を賜りますよう曲げてお願い申しあげます。

最後になりましたが、時節柄、体調管理にご留意の上お身体ご自愛いただきますようお願い申しあげます。